

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
西宮市	①学校運営上の課題	いじめや不登校など生徒指導上の課題への対応	不登校の児童生徒は増加傾向にあり、令和3年度末には小・中・義務教育学校で1,000を超えた。ほとんどのコミュニティ・スクールでも課題として認識しているが、状況把握や対策の検討までできていないのが現状である。	・すでにコミュニティ・スクールで不登校対策を行っている事例を集め、市ホームページや研修会での周知を図る。 ・庁内の他部署と連携をとり、不登校対策に係る情報の収集や発信を積極的に行う。	不登校の児童生徒の支援について、学校・家庭・地域がそれぞれできることを確認し、連携して支援策を検討・実施する。	不登校の児童生徒の支援策を検討・実施したコミュニティ・スクールの割合	10	%	15	17	3 ・不登校対策の取組みについて、地域学校協働活動推進員の交流会やコミュニティ・スクール研修会において情報が共有された結果、支援策を検討・実施するコミスクが増えている。 ・庁内の他部署との連携についてはまだ不十分のため、まずは情報を収集・分析する必要がある。
西宮市	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	少子化や自由に遊べる場所の減少等により子供同士の関係が希薄化し、子供の成長に大切な群れで遊ぶ機会が減っている。	放課後に学校施設を活用し、子供たちが安全かつ安心して過ごせる居場所を作り、主体的な遊びや学びを通して、コミュニケーション力や社会性、協調性を育み、児童の健全育成を図る。	事業に参加することで、異学年や他クラスの児童との交流機会が増える。	事業に参加することで、新たな友達ができ児童の割合(市アンケート)	53	%	40	54	3 ・アンケートでは、半数以上が新たな友達ができたと回答しており、児童の社会性や協調性を育むという事業趣旨を一定程度実現できている。 ・目標値が低いため、目標は達成したことになっているが、より適切な数値を設定すべきであったと考える。